

# 令和6年11月県議会付議案件（第1次追加提案分）について

令和6年12月10日

## 1 予算規模（一般会計）

補正額	370億円
補正後	4,100億円
補正前	3,700億円

## 2 主な内容

石破新政権において、「日本経済・地方経済の成長」「物価高の克服」「国民の安心・安全の確保」の3つの柱で構成された事業規模39兆円程度の「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」が決定された。

本県として、「鳥取県緊急経済対策」を編成し、緊急かつ機動的に対応する。まず、低所得者等を対象とした灯油代を含む光熱費支援、LPガス・特別高圧電力料金高騰分支援に加え、交通事業者、医療・社会福祉・保育施設、子ども食堂、農林水産業など幅広い事業者を対象とした物価高騰支援を行う。また、賃上げを伴う設備投資支援や県内中小企業の投資促進、国立公園や自然公園内施設の改修、県産乳製品加工施設の整備支援、保育士の処遇改善、高等学校のDX推進といった賃上げ環境の整備など活力あるふるさとづくりを進める。

さらに、社会福祉施設整備に対する支援、障がい・介護分野へのICT導入支援、地域高規格道路の整備進捗等に加え、北条道路の整備に合わせた「はわいバイパス」の令和8年度供用開始に向けた整備加速など、安心・安全の地域づくりを行う。

なお、今回の補正額は過去最大の規模である。

## 3 主な事業

### （1）足元の物価高への対策

- ・灯油代等家計負担激変緩和対策事業 …………… 1億円  
低所得者や多子世帯、児童扶養手当受給世帯等に対して、灯油代を含めた光熱費支援。
- ・県立特別支援学校給食費等負担軽減事業 …………… 350万円
- ・交通事業者物価高騰対策支援事業 …………… 3,400万円
- ・医療・社会福祉・保育施設等物価高騰対策支援事業 …………… 6億5600万円
- ・子ども食堂運営費高騰対策支援事業 …………… 510万円
- ・私立学校等物価高騰対策支援事業 …………… 770万円
- ・公衆浴場原油価格高騰対策事業 …………… 100万円
- ・クリーニング業燃料費高騰対策事業 …………… 160万円
- ・運輸燃料・資材高騰に伴う物流の輸送能力安定化事業 …………… 1,350万円  
物価高騰下における「物流の2024年問題」の解決を図るため、県内運送事業者の輸送能力向上や省エネルギー化を支援する。
- ・原油高対応省エネ農業機械・施設等導入支援事業 …………… 5,500万円
- ・畜産経営緊急救済事業 …………… 9,200万円
- ・省エネ林業機械等導入支援事業 …………… 4,775万円
- ・特用林産生産資材価格高騰支援事業 …………… 510万円

- ・漁業者物価高騰対策事業（がんばる漁業者支援事業）…………… 725万円  
 燃油価格高騰等に伴い、沿岸漁業者等の経営状況が悪化しているため、省エネ機関等の漁船用機器購入を支援する。

## （2）賃上げ環境の整備など活力あるふるさとづくり

- ・賃上げ・価格適正化総合対策事業…………… 13億円  
 継続的な賃上げの必要性が生じていることを踏まえ、パートナーシップ構築宣言を行い賃上げを進める事業者に設備投資や人材育成等への支援をする。
- ・国立公園満喫プロジェクト等推進事業…………… 2億7千万円  
 大山隠岐国立公園内施設を観光客誘致につながる魅力あるものとするため、大山夏山登山道の改修工事を実施する。
- ・県産乳製品加工施設生産強化支援事業…………… 28億円  
 乳製品加工施設の整備に対して支援する。
- ・子どものための教育・保育給付費県負担金…………… 2億9千万円  
 人事院勧告に準じた保育士・幼稚園教諭等の公定価格の引上げによる処遇改善に係る県負担分を措置する。
- ・ICT環境整備事業…………… 770万円  
 インターネット環境の改善を図るため、県立学校の通信ネットワーク環境の調査を行う。
- ・高等学校DX加速化推進事業…………… 7,600万円  
 デジタル人材育成の抜本強化するため、ICTを活用した探求的・文理横断的・実践的な学びを実施する拠点（DXハイスクール）を整備する。

## （3）安心・安全の地域づくり

- ・鳥取県障がい福祉分野におけるロボット・ICT導入支援事業…………… 1,500万円
- ・介護サービス事業者の職場環境改善事業…………… 5億9千万円
- ・特別支援学校環境整備事業…………… 2億9千万円  
 県立特別支援学校における空調の長寿命化改修やトイレの洋式化工事等を実施する。
- ・花粉発生源対策促進事業…………… 2億5千万円  
 花粉発生源対策を促進するため、スギ人工林の花粉対策品種・樹種への転換支援。
- ・地域高規格道路整備事業…………… 5億1千万円  
 高速道路網の充実を図り、災害に強い県内幹線道路ネットワークを構築するため、北条湯原道路、江府三次道路などの整備を行う。
- ・ICアクセス道路整備事業…………… 10億5千万円  
 北条道路の整備に合わせた「はわいバイパス」の令和8年度供用開始に向け整備。
- ・通学路安全対策事業…………… 2億円  
 警察、道路管理者、学校関係者合同で行った通学路安全合同点検により指摘された小中学校の通学路の危険箇所において、歩道の整備等を実施する。
- ・除雪事業…………… 3億円
- ・大規模特定河川事業…………… 11億2千万円  
 河川の防災・減災、強靱化を図るため、氾濫のおそれがある区間において、護岸整備や橋梁改築等の集中整備を行う。